

記載例

技能実習等の受講日の取扱いに関する申告書

下記のⅠ～Ⅲの項目についてご記入下さい。

| | |
|-----------------|--|
| Ⅰ【労働条件等】 | |
| ① 対象労働者氏名： | <u>〇〇 〇〇</u> |
| ② 就業時間： | <u>8:00 ~ 17:00</u> |
| ③ 休憩時間： | <u>90</u> 分【内訳】（午前 <u>15</u> 分）（正午 <u>60</u> 分）（午後 <u>15</u> 分） |
| ④ 所定労働時間： | 1日（ <u>7.5</u> ）時間 / 1週（ <u>40</u> ）時間 |
| ⑤ 変形労働時間制： | 導入なし ・ 月単位 ・ <u>年単位</u> |
| ⑥ 賃金形態： | <u>月給制</u> ・ 日給制 ・ 時間給制 <u>250,000</u> 円 |
| | 締切日 毎月（ <u>末</u> ）日 支払日 当月・翌月（ <u>10</u> ）日 |
| ⑦ 単価の算出根拠： | 残業時間単価 <u>1,798</u> 円 |
| | （計算式： <u>$250,000 \div 173.8$（1ヶ月の平均所定労働時間）$\times 1.25$</u> ） |
| | 休日出勤単価 <u>1,942</u> 円 |

| | |
|---|--|
| Ⅱ【休日受講及び取扱いの確認】 該当する項目の□にチェック（ <input checked="" type="checkbox"/> ）をご記入下さい。 | |
| □1 受講日は全て休日ではなく、通常勤務として通常の額の賃金を支払った。 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2 受講期間中に休日が含まれており、休日については次のとおり取り扱った。 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ① 休日受講日を出勤日とし、振替休日を与えた（下記にご記入下さい）。 | |
| ・ <u>7月10日</u> → <u>7月12日</u> （振替日） ・ 月 日 → 月 日（振替日） | |
| ・ 月 日 → 月 日（振替日） ・ 月 日 → 月 日（振替日） | |
| □② 割増賃金を支払った。 | |
| □③ ①又は②の措置をとっていない。 | |

| | |
|--|--|
| Ⅲ【所定労働時間外受講及び取扱いの確認】 該当する項目の□にチェック（ <input checked="" type="checkbox"/> ）をご記入下さい。 | |
| □1 受講期間中に、所定労働時間を超える受講時間はなかった。 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2 受講期間中に、所定労働時間を超える受講時間があった（下記にご記入下さい）。 | |
| ・ <u>7月11日</u> （超過： 時間 <u>30</u> 分） ・ 月 日（超過： 時間 分） | |
| ・ 月 日（超過： 時間 分） ・ 月 日（超過： 時間 分） | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ① 所定（割増金を含む）の賃金を支払った。 | |
| □② ①の措置をとっていない。 | |

※ 当該受講に係る日について振替休日を与えていない場合又は所定の割増賃金を支払っていない場合は、「賃金助成」の対象になりません。

※ 受講日以外の日においても、所定労働時間外の労働に対して割増賃金を支払っていないなどの労働関係法令違反が見受けられた場合には、適宜指導を行い、指導内容が改善されない場合には助成対象外となります。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日 事業所名

代表者名

印

受講時間は講習機関が証明した支給申請内訳書で確認して下さい。